

楽しかった合同運動会 小野わかば幼稚園・中央さくら保育園

9月16日に小野わかば幼稚園・中央さくら保育園合同運動会が小野新町小学校校庭で行われました。誰もが雨を心配する空模様でしたが、子ども達の願いが通じて見事に晴れ、青空の下で実施できました。

小野わかば幼稚園と中央さくら保育園の4歳・5歳児は、県の幼保連携バイオニア事業により4月から、月に数回ずつ合同保育を実施しています。そのため運動会の練習も合同で仲良く進められました。

年齢別に種目の内容や小道具等、両園の保育者が話し合い、子ども達が楽しく参加できるように配慮しました。中央さくら保育園の3歳児も参加し、可愛ら



しさを発揮しました。親子競技では子ども達以上に張り切る保護者の姿も見られ、親子一体となって楽しめたようです。幼保対抗の保護者綱引きもかなり気合いが入っていました。

5歳児の全員リレーは、抜きつ抜かれつの攻防戦に会場中から大声援が送られました。練習を始めた頃は、バトンを渡されても、隣の子を待って走り出すという姿も多かったのですが、回を重ねる毎に自分の力を出し切って頑張り、チームの勝利のために力を合わせていくようになりしました。

閉会式で一人ひとりの首に金メダルがかけられ、満足顔の子ども達でした。



合同運動会の様子

小町子ども教室～遊びの楽校

町では、福島県子ども居場所づくり推進事業として小町子ども教室「遊びの楽校」を多目的研修集会施設において週1回、小野新町小学校プレールームにおいて月2回実施しています。

この事業は、子ども達の安全・安心な遊び場の確保や多様な体験活動を通して、心身共に健やかな子ども達の成長を図ることを目的として行われており、今年で2年目を迎えました。小野新町小学校の1～4年生を対象に募集したところ保護者や児童からも好評で68名の参加希望がありました。多数の参加者にボランティアの大人達は、一様に驚きと喜びを感じていました。

参加者は、毎回活動指導員の指導で、宿題・七夕かざり・里山史跡めぐり・ドッジボール・フットベースボール・お話し会・月見だんごづくりなどいろいろな趣向を凝らし活動を行っています。「友達があふれた」、「今までに知らないお話をたくさん聞けてよかった」といった声があがっています。また保護者の方からは、「とても良い事だと思えます」、「家庭ではできないような物づくり等を教えていただき感謝しています」という感想をいただいています。10名いる活動指導員の方々は「いつも若さやエネルギーを子ども達からもらい、子ども達に小学生の頃大人の友達といるような遊びをして楽しかったという美しい思い出を作ってあげたい」という気持ちで活動しています。

これからも、子ども達が意欲的に活動ができるよう計画していきたいと思えます。

七夕の飾りつけ



押し花作り
どの花にしようかな



みんなそろって



里山史跡めぐり
さあ出発！